



「三寒四温」の言葉のように確実に春の足音が響いてきました。春は子どもにも大人にも新しい門出の喜び、期待を感じさせる不思議な力があるように感じます。

「ああおもしろかった」という体験を貯金しよう

皆さんは春の思い出というとなんか何を思い浮かべますか？昨今は春＝花粉症という人も多いですが、昔、子どもと一緒につくし採りをしました。採った場所は京急〇〇駅近くの土手、緑の雑草の中からつくしを見つけ、親も子も夢中になって採りました。帰宅後、つくしのはかまを取り、つくしの卵とじを作りおいしくみんなで食べました～と書ければよかったのですが・・・子ども達は抵抗無く食べたけれど、親のほうはどうしても「草」の感覚が拭いきれず、やっと一口食べた程度。きつと苦虫をつぶしたような顔をしていたことでしょう。

子どもはもちろん、親にとっても初めての体験でした。子育てを通じ子どもと体験することが親自身の経験も豊かにしてくれる。普段何気なく見過ごしてしまうこともふとしたことで豊かな経験だったと気づく。

臨床心理学者の河合隼雄さんは小さいときから親子でたくさんの「おもしろかった」という体験を貯金しておくことを勧めています。

この貯金は元本保証、目減りすることはありません。どうぞご安心を。

《きっずぽけっとミニ通信》の今年度の担当のワーカー・Tです。一年間よろしくお願いします。

